



スピードリニューアル実現！

既存20年前のSICON-2001現場からSICON-5001Jにリニューアルすると、必要最低限で工事が出来ます。

1. 既存SICON-2001現場にSICON-5001Jを使用することのメリット

① 費用節減

操作盤、ケーブルなど既存流用が出来るので、予算に合わせて工事が出来る。

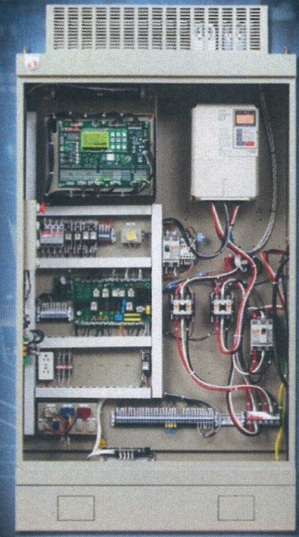
② 時間の制約が少ない

状況に合わせて先に制御盤のみリニューアルしておいて、ケーブル、操作盤などは現場のご都合に合わせて分けて工事が出来る。

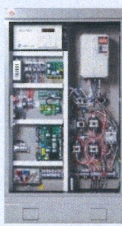
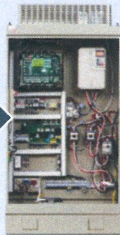
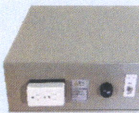

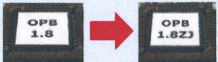




③ エンドユーザーに提案しやすい

工事時間と費用を抑えられるし、SICON-2001よりさらに進化した最新のモデルになっており、お客様に提案しやすい。

SICON-5001J



2. リニューアル工事時変更必要な項目(SICON-2001 → SICON-5001J)

項目	SICON-2001	➔	SICON-5001J	内容
制御盤		リニューアル		SICON-5001Jの特徴 ① MCB-2001 に比べ、入力ポート18個、出力ポート15個追加で様々な機能が可能。 ② 全ての機能を高速 DSP 一つでシステム構成一本化 ③ 最新のFRAM 適用で別途/バッテリーがなくても151年間データ保存が可能 ④ 時計ICとコインバッテリーを分離し、コインバッテリーのみ交替して使用可能 ⑤ 2つの485通信ポート適用 ⑥ メインボードにUSBポートが設けてあり、ノートPCで現場のデータを読み込み・書き込みが出来る。(S DATA MANAGER プログラム必要) *SICON-2001からSICON-5001Jにリニューアル時、既存現場の詳細仕様とメインボードのマイコム情報を確認する必要があります。
Car Top Box		流用		Car Top Box交換必要無し ただし、Car Top Box内OPB-101基板のマイコムのみ交換必要(OPB1.8ZJに交換) 
Harness/T-Cable		流用		Harness/T-Cableケーブル交換必要無し SICON-5001Jと SICON-2001ケーブルコネクタは同じなので既存のケーブルそのまま流用可能
操作盤 (カゴ、乗場)		流用		既存の操作盤流用可能 SICON-5001Jと SICON-2001の操作盤は通信方式とコネクタが同じなので既存の操作盤そのまま流用可能